

野菜の生育状況及び価格見通し（令和7年11月）について

○ 令和7年11月は、ばれいしょ、たまねぎ等の価格は平年を上回って推移することが見込まれる一方で、キャベツ、レタスの価格は平年を下回って推移する見込み。

東京都中央卸売市場に出荷される野菜の生育状況及び価格の見通しについて、主産地等からの聞き取りを行った結果を公表します。

1. 背景

近年、天候不順により野菜の価格変動が大きくなっている中で、産地の出荷判断と消費者の購買行動の最適化を促し、野菜の供給及び価格の安定に寄与することを目的として、平成23年より、野菜の生育状況や価格の見通しについて、主産地、卸売会社等からの聞き取りを行っております。

今回、聞き取り結果に基づく、令和7年11月の野菜の生育状況及び価格の見通しを次のとおり公表します。

なお、2020年基準消費者物価指数によると、令和7年9月の総合の指数は112.0、食料の指数も127.0と上昇傾向にありますが、本プレスリリースについては、主産地、卸売会社等からの聞き取りをもとに過去5か年平均を基準として作成しておりますこと、ご注意ください。

「野菜を食べよう」プロジェクト

農林水産省では、野菜の消費拡大を推進するため、「野菜を食べよう」プロジェクトを実施しています。

野菜はビタミンやミネラル、食物繊維等が豊富に含まれており、毎日を健康で元気に過ごすために欠かせない食材です。

皆さんもご自宅等で野菜をたっぷり使った料理をお楽しみください。

詳細は次のURLをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/yasai/2ibent.html>



キャベツのミルフィュー



レタス鍋

また、「令和4年度「アフターコロナ」を見据えた野菜・果物の消費動向調査と野菜・果物のレシピ」、「cookpad 農林水産省のキッチン」、「(独)農畜産業振興機構 おすすめ野菜レシピ集」でも野菜のレシピを紹介していますので、是非ご覧ください。

令和4年度「アフターコロナ」を見据えた野菜・果物の消費動向調査と野菜・果物のレシピ
<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/engei/aftercovid19/1.html>

「cookpad 農林水産省のキッチン」
<https://cookpad.com/kitchen/11469357> (外部リンク)

「(独)農畜産業振興機構 おすすめ野菜レシピ集」
https://www.alic.go.jp/y-kanri/yagyomu03_000001_00046.html(外部リンク)

2.主要な野菜の生育、出荷及び価格の見通し

品目	主産地 ()書きは 令和6年 11月の入荷 シェア	今後の生育及び出荷見通し	11月の価格見通し (平年(直近5か年平均) 比)
だいこん	千葉(55%) 神奈川 (25%)	北海道産・青森県産の出荷が減少し、千葉県産・神奈川県産中心の出荷へと切り替わる。 北海道産・青森県産は11月上旬に出荷が終了する見込み。千葉県産・神奈川県産の生育は順調であり、11月中下旬から増量する見込み。 全体として、11月の出荷数量・価格は平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移
にんじん	北海道 (42%) 千葉(40%) 青森(12%)	北海道産中心の出荷から、千葉県産中心の出荷へと切り替わる。 北海道産は11月上旬に出荷が終了する見込み。 青森県産は夏季の高温、干ばつの影響により細物傾向。千葉県産は9月の降雨と10月の日照不足の影響により生育が若干遅れている。 全体として、11月の出荷数量はやや平年を下回り、価格はやや平年を上回って推移する見込み。	やや平年を上回って推移
はくさい	茨城(85%) 長野(10%)	長野県産の出荷が減少し、茨城県産中心の出荷へと切り替わる。 長野県産は11月上中旬にまとまった数量の出荷は終了する見込み。茨城県産の生育は順調であり、11月中旬以降増量する見込み。前段・後段産地の出荷が重なるため、11月の出荷数量は平年並みからやや平年を上回り、価格は平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移

キャベツ	千葉(33%) 茨城(26%) 愛知(20%)	群馬県産の出荷が減少し、千葉県産・茨城県産・愛知県産中心の出荷へと切り替わる。 群馬県産は11月上旬に出荷が終了する見込み。 千葉県産・茨城県産の生育は順調であり、11月上中旬に増量する見込み。愛知県産は夏季の高温の影響により若干生育が遅れているものの、9月以降の生育は順調であり12月にかけて増量する見込み。 全体として、11月の出荷数量はやや平年を上回り、価格は平年を下回って推移する見込み。	平年を下回って推移
ほうれんそう	群馬(55%) 茨城(23%) 栃木(10%)	主産地の生育は概ね順調であり、11月の出荷数量・価格は平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移
ねぎ	秋田(21%) 青森(13%) 茨城(12%) 北海道(10%)	北海道産・秋田県産・青森県産の出荷が減少し、茨城県産の出荷が増加する。 北海道産の生育は順調。秋田県産・青森県産は夏季の高温・干ばつの影響により細物傾向がみられ、出荷数量は平年を下回って推移する見込み。茨城県産も8月までの高温の影響により細物傾向がみられる。 11月の出荷数量はやや平年を下回り、価格はやや平年を上回って推移する見込み。	やや平年を上回って推移
レタス	茨城(77%)	長野県産の出荷が減少し、茨城県産中心の出荷へ切り替わる。 茨城県産は適度な降雨と気温の上昇により生育は順調であり、11月中旬まで出荷のピークを見込んでいる。後段産地の静岡県産・兵庫県産の生育も順調であるため、11月の出荷数量はやや平年を上回り、価格は平年を下回って推移する見込み。	平年を下回って推移
きゅうり	埼玉(23%) 宮崎(23%) 群馬(20%)	埼玉県産・群馬県産に加え、宮崎県産が増加する。 主産地において、生育初期の高温、10月下旬の急な気温低下の影響により生育不良等がみられているものの、大幅な出荷数量の減少は見込まれず、11月の出荷数量・価格は平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移
なす	高知(59%) 福岡(17%)	群馬県産・茨城県産の出荷が減少し、高知県産・福岡県産中心の出荷へと切り替わる。 主産地の生育は概ね順調であり、11月の出荷数量・価格は平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移

トマト	熊本(35%) 愛知(13%) 栃木(12%)	熊本県産は8月の豪雨の影響による定植遅れ等がみられ、11月前半の出荷数量は少なくなる見込み。愛知県産・栃木県産の生育は概ね順調。全体として、11月の出荷数量はやや平年を下回り、価格はやや平年を上回って推移する見込み。	やや平年を上回って推移
ピーマン	茨城(55%) 宮崎(14%)	茨城県産は10月中旬以降の曇天、急な気温低下の影響により生育不良等がみられ、11月前半の出荷数量はやや少なくなる見込み。宮崎県産は生育初期の高温の影響により生育不良がみられているものの、大幅な出荷数量の減少は見込まれない。全体として、11月前半の出荷数量はやや平年を下回り、価格はやや平年を上回って推移し、11月後半の出荷数量・価格は平年で推移する見込み。	<11月前半> やや平年を上回って推移 <11月後半> 平年並みで推移
ばれいしょ	北海道(100%)	主産地において、夏季の高温、干ばつの影響により小玉傾向になっている。春先までの供給を確保するために計画的に出荷を行っていることから、11月の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移する見込み。	平年を上回って推移
さといも	埼玉(72%)	主産地において、生育は概ね順調。11月の出荷数量・価格は平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移
たまねぎ	北海道(97%)	主産地において、夏季の高温、干ばつの影響により小玉傾向になっている。春先までの供給を確保するために計画的に出荷を行っていることから、11月の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移する見込み。	平年を上回って推移
ブロッコリー	埼玉(23%) 熊本(18%) 長崎(11%)	埼玉県産に加え、熊本県産・長崎県産・香川県産・愛知県産が増量する。埼玉県産は夜温の低下と日照不足の影響により生育が鈍い。熊本県産は8月の大雨の影響により定植遅れ、初期生育不良がみられる。長崎県産・香川県産・愛知県産の生育は概ね順調。全体として、11月前半の出荷数量はやや平年を下回り、価格はやや平年を上回って推移し、11月後半の出荷数量・価格は平年並みで推移する見込み。	<11月前半> やや平年を上回って推移 <11月後半> 平年並みで推移

注：「平年並み」とは、平年（過去5か年平均）との比率が概ね90%以上、110%以下であることを示しています。

<添付資料>

東京都中央卸売市場における指定野菜の価格の平年比(PDF：102KB)

これまでの公表資料は、次のURLページで公開しております。

https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/yasai_zyukyu/

【お問合せ先】

農産局園芸作物課

代表：03-3502-8111（内線4822）

ダイヤルイン：03-3502-5961

担当者：価格班